

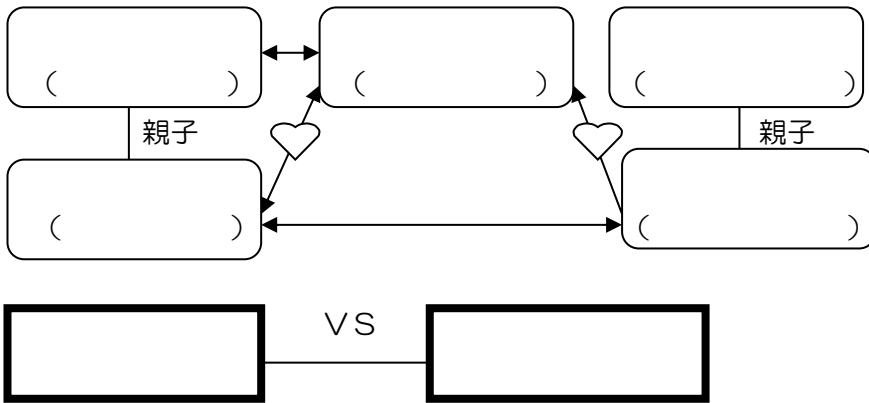
<b>題材評価シート</b>	3年 組 番 氏名
<b>【 題材名 】</b> 歌劇の音楽表現の豊かさを 味わおう	<b>評価の観点</b> ①音楽と他の芸術、音楽と物語の関わりに関心を持ち、意欲的に鑑賞している。 ④音楽と他の芸術、音楽と物語や登場人物の心情の関わりなどから歌劇の音楽表現の特徴を理解し、味わって鑑賞している。

**【教 材】**

○ 歌劇「アイーダ」

作曲： \_\_\_\_\_ (イタリア： \_\_\_\_\_ ~ \_\_\_\_\_ )

◇ あらすじや登場人物について相関図を理解しよう。



舞台は古代エジプト。エチオピアの王女アイーダは捕虜としてエジプトに捕らえられ、エジプトの王女アムネリスに仕えている。2度目の戦にも負けたエチオピアはアイーダの父であるアモナズロまでもが捕らえられる。その戦いで活躍したエジプトの将校ラダメスこそ、アイーダが愛する人であった…。父か恋人かで迷うアイーダ、国か愛する人を選ぶかで苦悩するラダメス。そして、アムネリスもまたラダメスを愛しているのがあった。

◇アイーダの心情の変化が音楽の表現でどのようにあらわされているか聴き取ってみよう。(第1幕 アリア)

訳 詞	音楽表現の変化	人物の心情
尊い父と愛する方の名 私はそれを言うも思うも許されぬとは 乱れる心のままに お二人どちらのためにも涙し そして祈りたい けれど祈りはどちらかに不幸を祈ることになり 涙はどちらかを裏切ることになる そう思うと 闇にひきこまれそう これほど苦しいならいつそ死んだほうが… 神々よどうかわたしにお慈悲を 私の苦しみに 救いはありません 定めとしても無情な恋 この胸が張り裂け 死ねたら 神々よ どうか わたしにお慈悲を 神々よ どうか わたしの苦しみにお慈悲を 神々よ どうか わたしにお慈悲を		

•慈悲…情け、あわれみ

